

A

5.7km



打吹山に抱かれた倉吉とそこに流れた時代を歩く

# 打吹山・赤瓦ウォーク ～伯耆国倉吉漫ろ歩き～

打吹山とそのふもとに広がる倉吉の古いまちなみを巡るコース。打吹山の中腹で森林浴を楽しんだ後、伯耆国の中心都市として古代から開け、人々の交流拠点となっていた倉吉の史跡などを訪ねる。



**5 八橋往来**

伯耆国の中心であった倉吉と八橋を結ぶ奈良時代からの街道。その昔、伊能忠敬もこの街道を歩いて測量を行った。およそ200年前の道筋が今に残るこの街道は、国の夢街道モデル地区にも認定されており、風情ある街道として懐かしさをしのばせている。

**6 倉吉淀屋**

1760(宝暦10)年建築の倉吉市に現存する最古の町家建物。「淀屋」の屋号をもつ牧田家は倉吉を代表する商家で、淀屋橋で有名な大阪の豪商「淀屋」と密接な関係を持っていたといわれている。

**9 緑の彫刻プロムナード**

昭和60年に廃止された旧国鉄倉吉線跡に日本を代表する彫刻家の作品を配し、遊歩道として整備。

**おもてなしポイント**

**赤瓦十六号館「淡雪」(おもてなしポイント)**

イタリア帰りの地域おこし協力隊員による地元関金の食材を使った関金ラグー(猪肉のミートソース)のラザニアを振る舞い。また観光ガイドによるミニツアーの出発地。

**スタート・ゴール地点**  
[倉吉未来中心]

**4 長谷寺(おもてなしポイント)**

本堂内厨子は国の重要文化財であり、山陰地方における数少ない室町時代後期の建造物。室町時代から明治時代に奉納された絵馬(県有形民俗文化財)が多数ある。当日は、休憩スポットとして、打吹公園だんごの振る舞いと天然還元水「白山命水」を用意。

**3 打吹山**

標高204m。倉吉のシンボリックな存在であり、スタジイなどの原生林で覆われた自然林の宝庫。散策道や展望台、東屋なども整い、四季を通して森林浴を楽しむことができる。

**2 打吹公園**

明治40年の皇太子(後の大正天皇)山陰行啓を記念して明治37年に開園。山陰随一の桜の名所として知られ、ツツジやツバキも群生。園内には猿やヤギの動物舎もあり、市民憩いの場となっている。東京・日比谷公園に次ぎ国内2番目にできた都市公園。

**1 倉吉市庁舎**

昭和31年建設。広島平和記念資料館や東京都庁等の設計者で知られる丹下健三と、岸田日出刀による設計。コンクリート開放の柱・梁・庇等が効果的に配され、水平線を強調した丹下健三の初期庁舎建築の特徴をよく示している。(当日は外観のみ)

**1 倉吉市庁舎**

**8 白壁土蔵群**

玉川沿いに伝統的な町家づくりの商家と白壁の土蔵が立ち並んでいる。玉川にかかる石橋が独特で、風情ある町並みを形づくる。国重要伝統的建造物群保存地区に指定。

**8 白壁土蔵群**